



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願い

【使用する工具の確認】

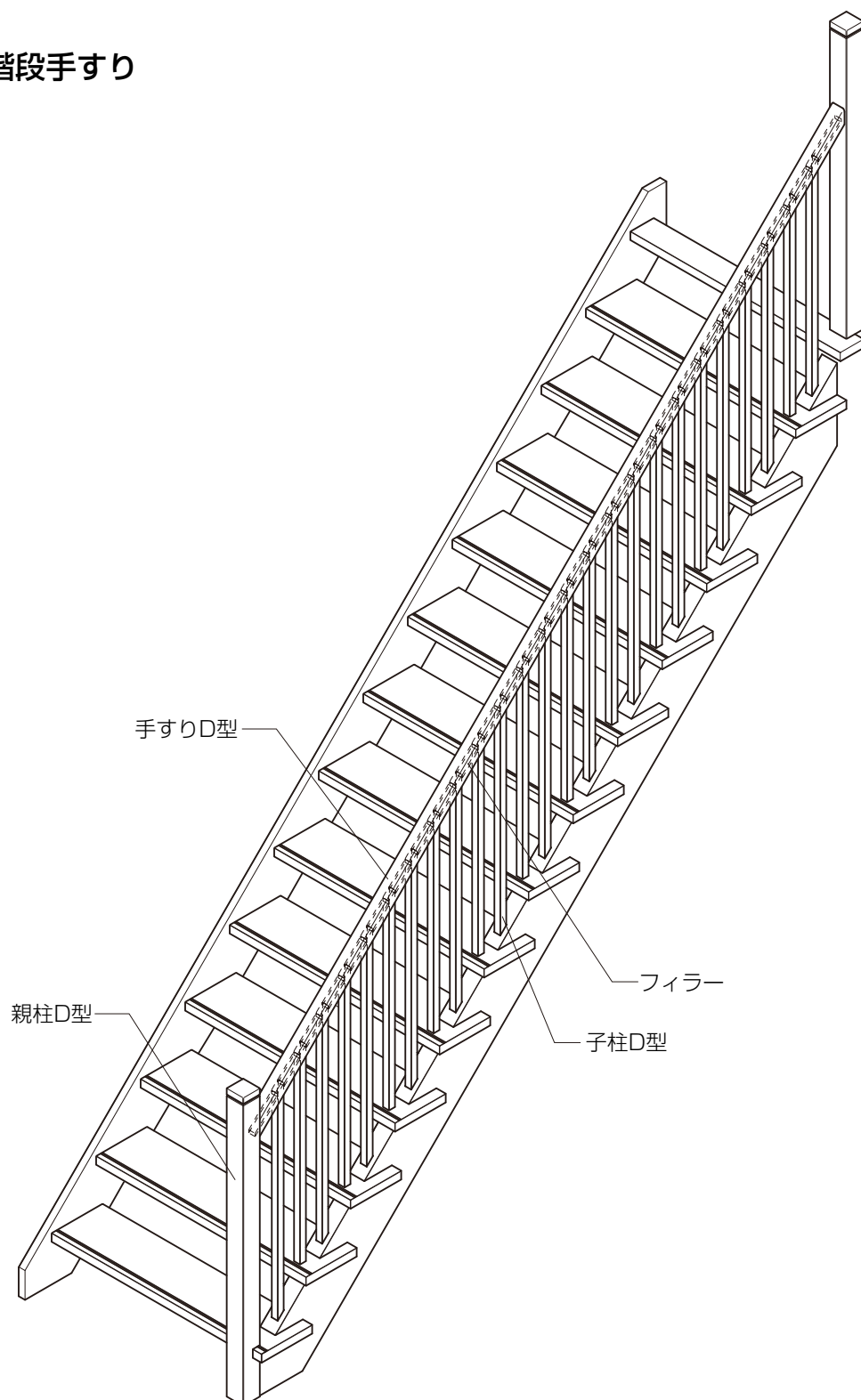
- ピンタッカー…子柱D型・手すりD型フィラー取付け用20mm
- スケール、水準器、下げ振り、自在スコヤ…寸法出し用、水平・垂直出し用、角度出し用
- 電気ドライバー(クラッチ付き)…部材、部品取付け用(ビットの長いものを用意してください。)

【取付け時の確認】

- 本製品の組立て・取付け時にはクラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転・ねじの頭がとぶ・ねじ頭がつぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、部材の垂下がり・ゆがみ・踏鳴りなどの原因となります。(本説明書で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 木造在来、2×4用です。鉄骨造納まりには直接対応しておりませんので、補強材(梁・大引きの代用となるもの)を施工部位のあいだに取付けてください。
- 床・躯体に親柱が納まりますので床暖房システム・クッション付き床の使用を避けてください。
- 現場組立て部品ですが、部材長さ4m以上のものがあります。搬入経路の確保をお願いします。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。

■各部名称図

■階段手すり



■取付け前の確認

■検品について

- 納入時に各部材を必ず検品してください。万一、製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(取付け完了後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)

■躯体の確認

- ささら桁・側板・親柱を受ける梁
・床下には、梁や大引きなどの受け材・補強材が必要です。
梁…階高から下場位置より250mm以上必要です。
大引き・補強材…柱・土台に105mm以上必要です。

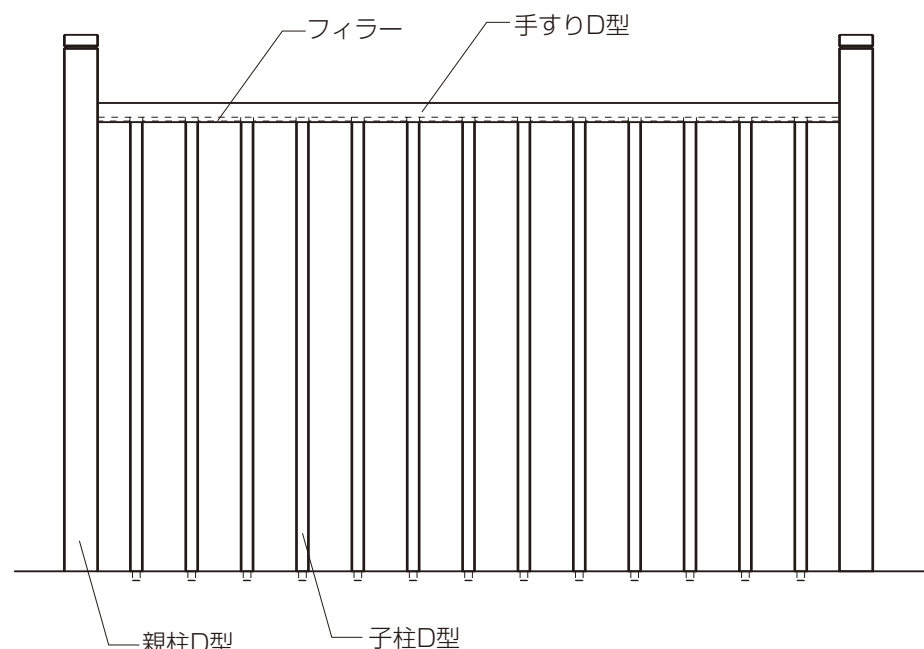
■取扱いについて

- 運搬・加工時にはキズが付かないよう、丁寧にお取扱いください。又、踏板・木笠木につきましては開梱状態で直接水がかかったり、直接日光の当たる場所に置くことはお避けください。
- 水濡れ厳禁…本製品は室内用です、直接水がかかったり、極端に湿度が高い所や土足による使用はできません。
- 階段踏板・木笠木は集成材を乾燥させており、当部材よりカビ・青シミはありません。運搬中・施工中での水濡れ、洗い作業で水分を与えますと集成材のフクレや割れ・カビ・青シミなどの発生原因となります。
- 万一濡れた場合は、すぐに乾いた布でふき取り、乾燥させてから養生してください。

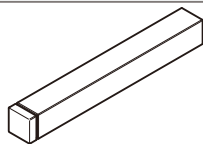
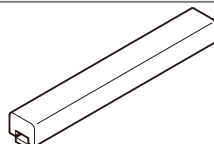
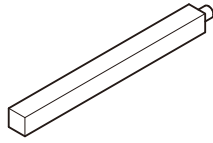
■取付けについて

- 梁・大引き・補強材の各部材につきましては、段差のないようにしてください。階段・手すりが取付かない・部品の変形・音鳴りの原因になります。

■フローアースすり



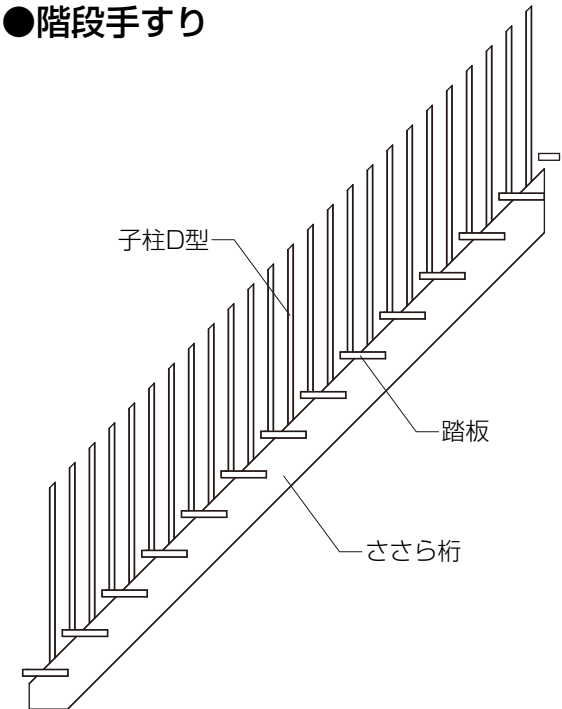
■梱包一覧表

部品・部材名称	姿 図	梱包内容	数量	部品・部材名称	姿 図	梱包内容	数量
親柱D型		親柱D型	1本	手すりD型 フィラータイプ		笠木	1本
		取付け説明書	1枚			フィラー	1本
子柱D型		子柱D型	1本				

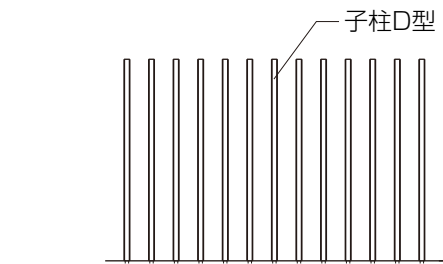
■取付け順序

1 子柱の固定

●階段手すり

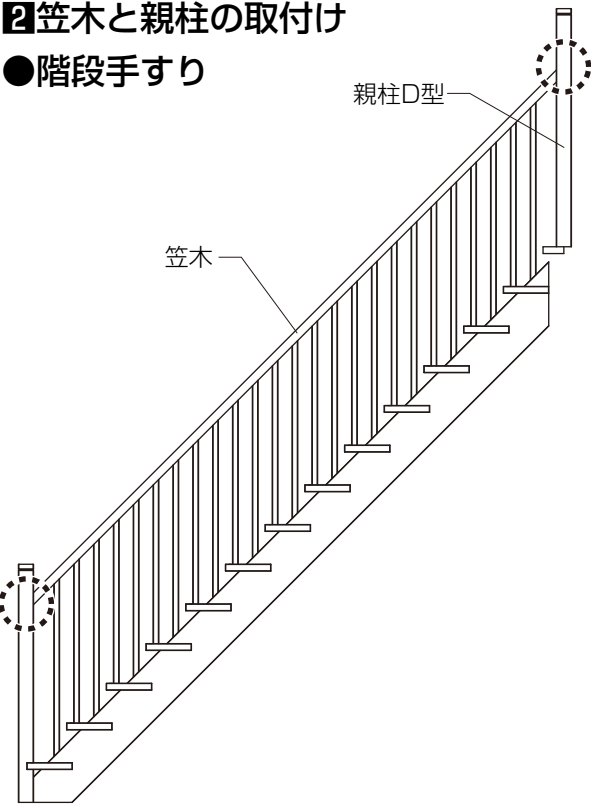


●フローア手すり

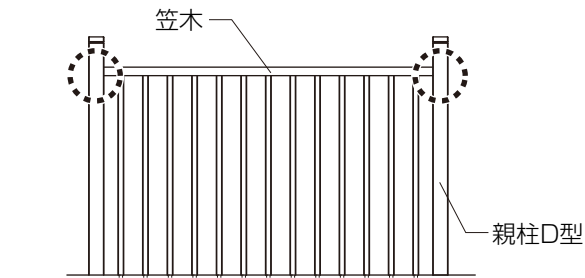


2 笠木と親柱の取付け

●階段手すり



●フローア手すり



■取付け詳細

1 子柱の固定

①階段、吹抜け部に合せて子柱上部を切断してください。

【切断寸法の目安】

■切断長さ

・手すり笠木の高さ(階段865mm・フローア手すり1100mm)－(笠木厚さ45mm－のみ込み寸法)

■のみ込み寸法

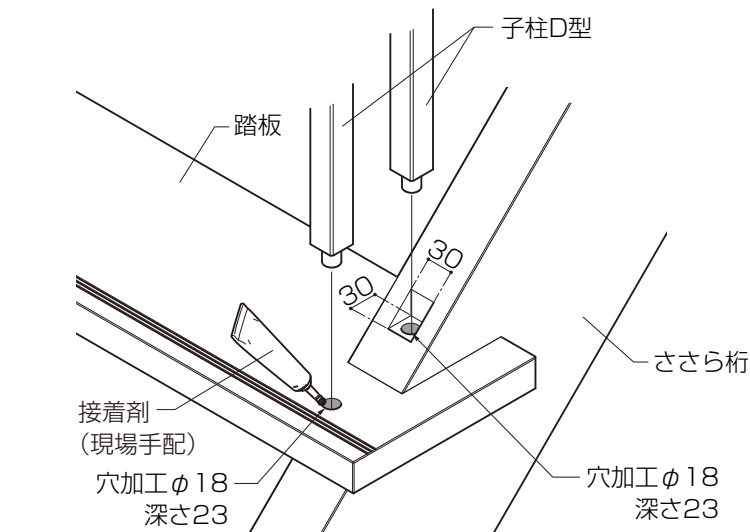
- ・階段は階段こう配によってのみ込み寸法が変わりますので実測ください。
- ・フローア手すりのみ込み寸法：11.5mm

②階段、吹抜け部を採寸して子柱を取付ける墨出しを行ってください。

③ドリル(φ18)深さ23mmで穴あけをしてください。

④ささら桁への加工は子柱(30×30)形状に掘込んでください。

⑤接着剤(現場手配)を下穴に塗布して子柱を取付けてください。



【仮並べ】

※本製品は、集成材(踏板・木笠木)が使われており、少しずつ違った色柄が天然の木目の良さを表します。取付けをはじめる前に必ず色柄を確認して、薄色から濃色順にするなど、仮並べのうえ調整して、順に組合せてご使用ください。

2 笠木と親柱の取付け

①笠木を長さ・角度(階段こう配)に合せて切断してください。

【切断寸法の目安】

■切断長さ

・笠木必要長さ(親柱～親柱まで)＋ホゾ長さ

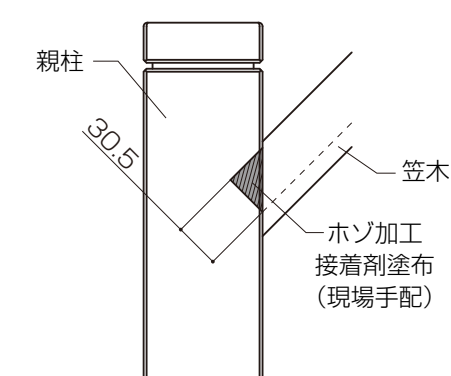
■ホゾのみ込み寸法

- ・階段は階段こう配によってホゾのみ込み寸法が変わりますので実測ください。
- ・フローア手すりホゾのみ込み寸法：親柱寸法80mmの1／3(約26mm)

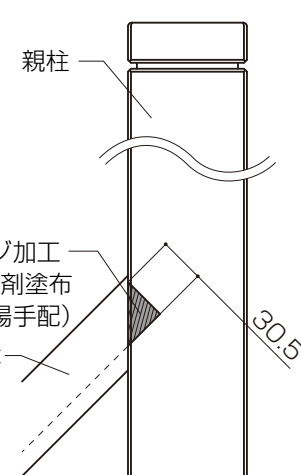
②親柱にホゾ加工をしてください。

③接着剤(現場手配)をホゾに塗布して笠木を取付けてください。

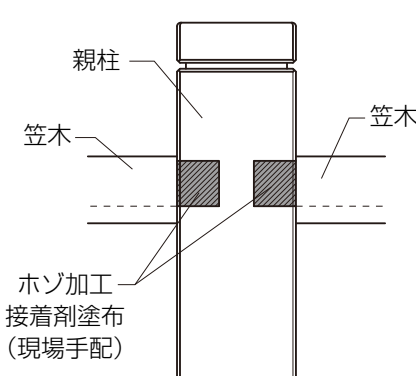
●階段 親柱下部



●階段 親柱上部

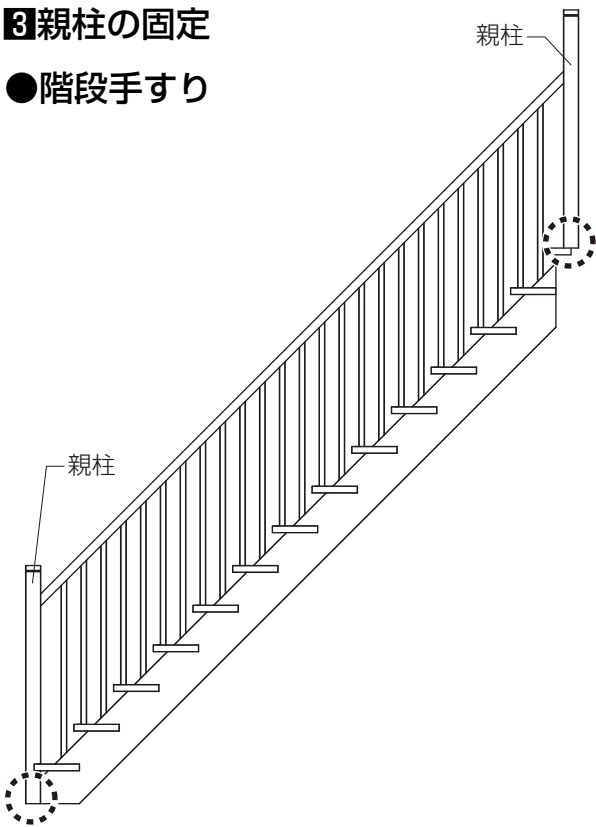


●フローア

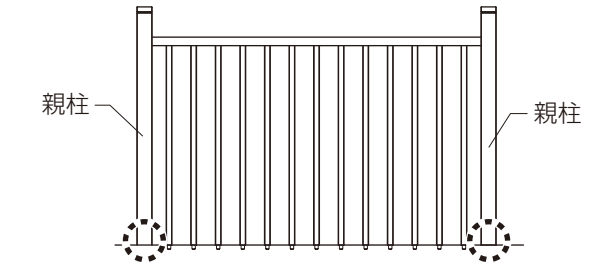


3親柱の固定

●階段手すり

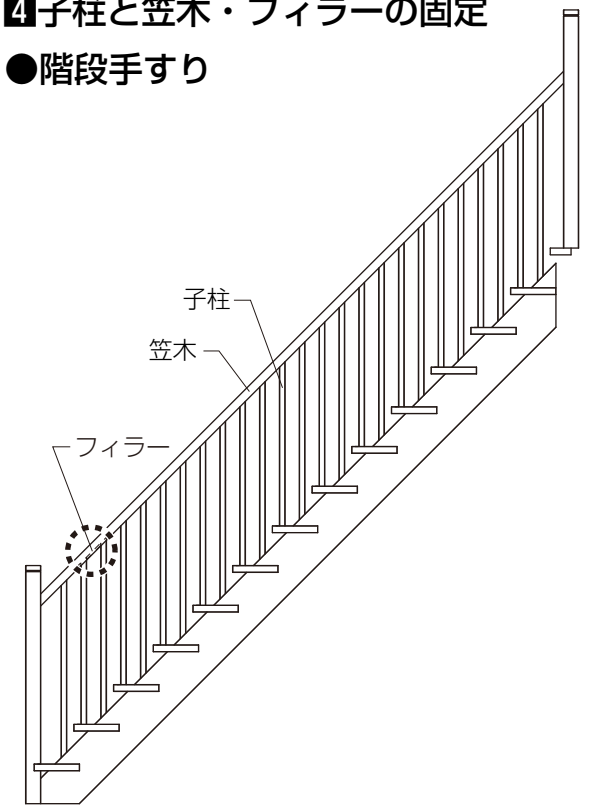


●フローア手すり

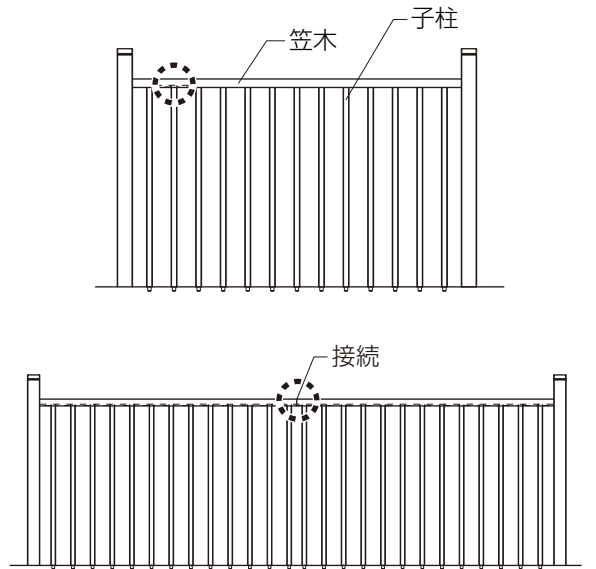


4子柱と笠木・フィラーの固定

●階段手すり



●フローア手すり



5取付け後の確認

3親柱の固定

①親柱を取付ける位置を決めてください。

【切断寸法の目安】

■切断長さ

・笠木必要長さ(親柱化粧部分～笠木高さ<床から>まで)+ホゾ長さ

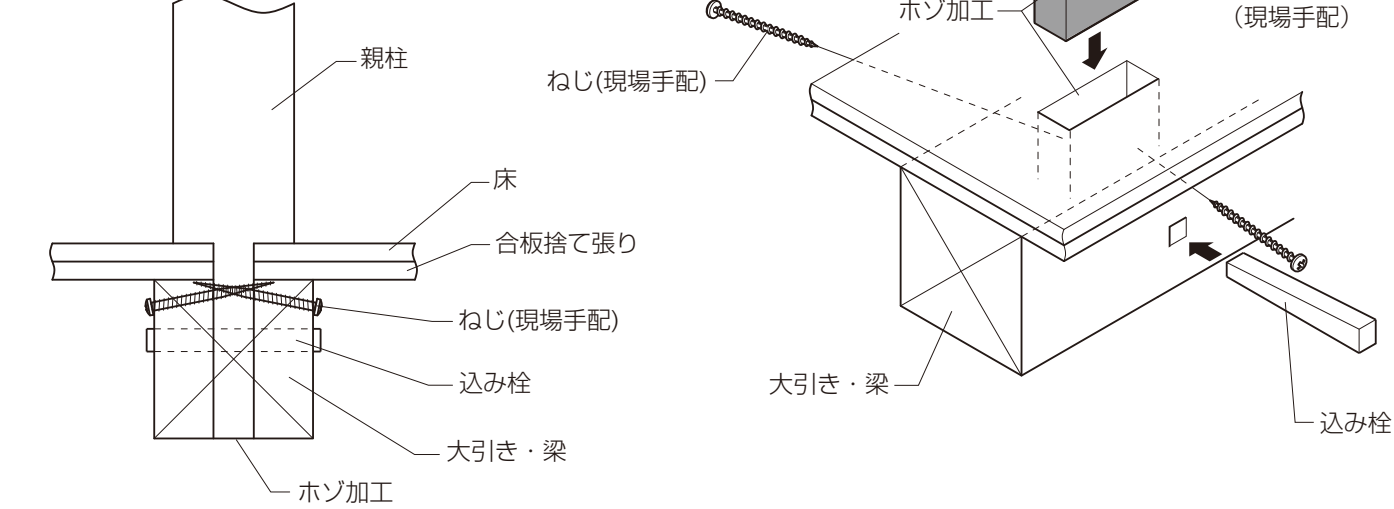
■ホゾのみ込み寸法

・大引き・梁の大きさによってホゾのみ込み寸法が変わります。
・親柱80mm以上は大引き・梁にホゾ入れしてください。

②大引き・梁にホゾ加工をしてください。

③接着剤(現場手配)をホゾに塗布して親柱を取付けてください。

④ねじ(現場手配)・込み栓にて固定してください。



※本製品の組立て・取付け時にはクラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。

※親柱が躯体に対して水平・垂直が出ているか確認してください。水平・垂直が出ていないと子柱の掛かり寸法が変わります。子柱が入らなかったり、子柱の掛かり寸法が浅くなったりして子柱抜けの原因・踏鳴りになりますので確認してください。

4子柱と笠木・フィラーの固定

①笠木に子柱を取付ける位置を決めてください。

※子柱の水平・垂直を確認してください。

②子柱に接着剤(現場手配)を塗布して、ピンタッカーにて横面より固定してください。

③フィラーを子柱間の寸法に切断してください。

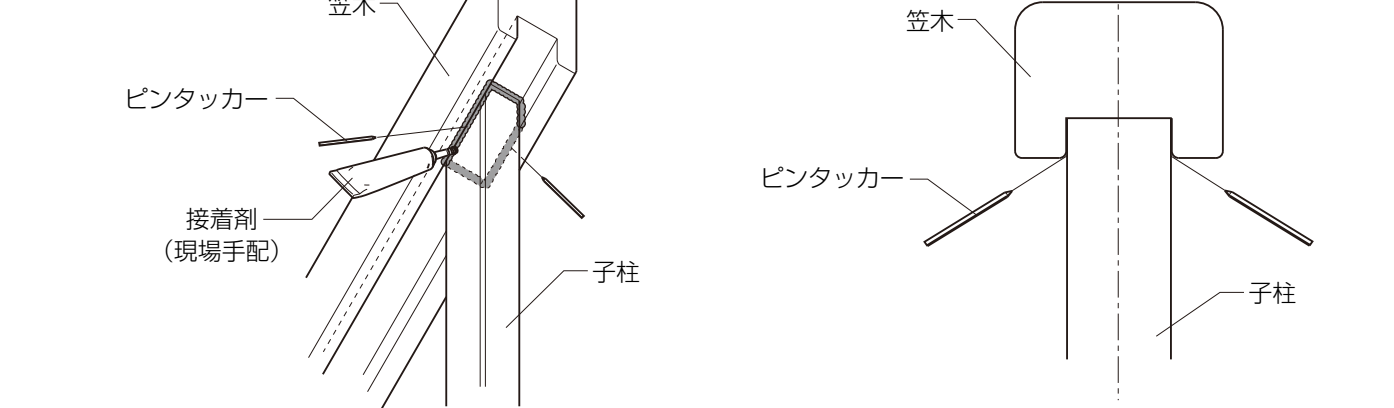
④フィラーに接着剤(現場手配)を塗布してピンタッカーにて固定してください。

※子柱のピッチが狭いとタッカーを打つ際に子柱にキズを付ける場合がありますので注意してください。

※子柱は1本ずつ位置を確認して取付けてください。

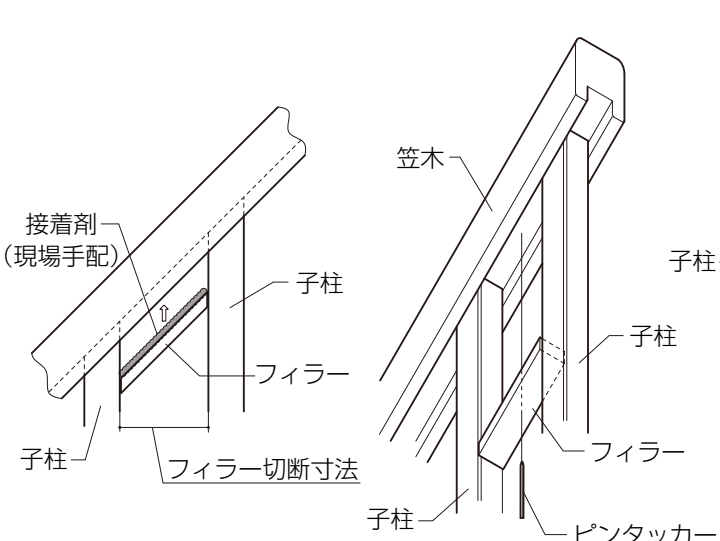
※フィラーは、子柱間の寸法を1本ずつ確認してから切断ください。

■子柱と笠木の取付け



■フィラーの取付け

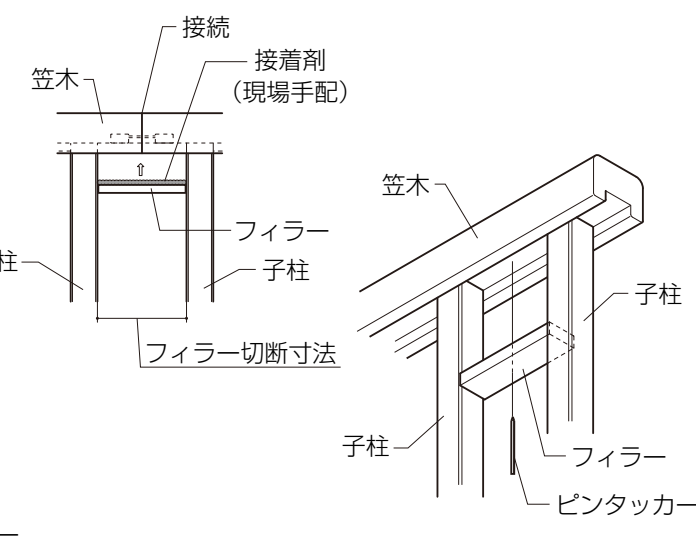
●階段手すり



5取付け後の確認

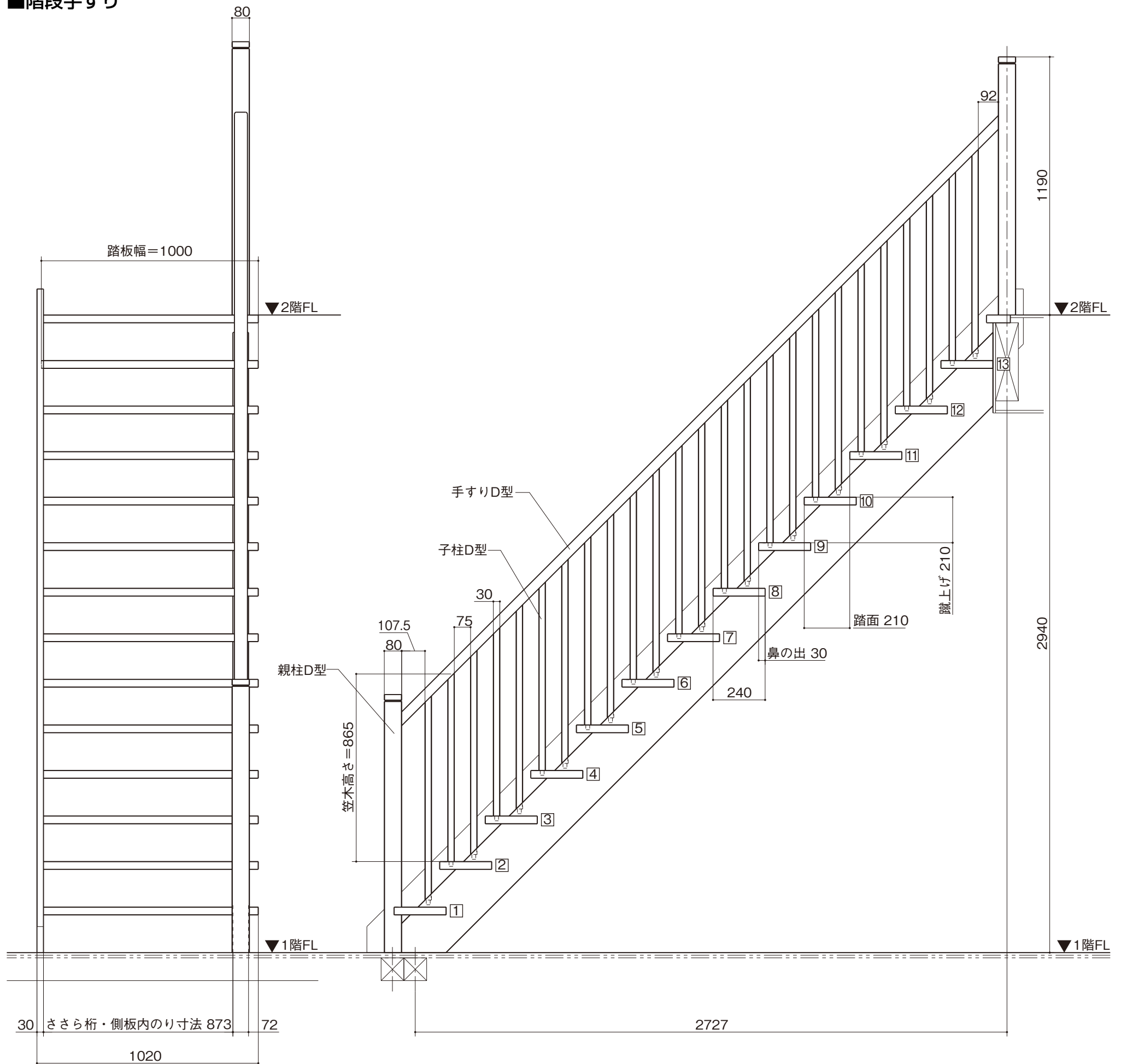
●親柱・子柱・笠木取付け後、部品・部材にガタツキがないかを点検ください。

●フローア手すり



■参考納まり図

■階段手すり



■フローア-手すり

